

地域における人とくらしのワーキング グループについて

2015年12月21日

地域における人とくらしのワーキンググループ事務局

総合科学技術・イノベーション会議の任務

1. 科学技術に関する基本的な政策

科学技術基本計画(5年)
国内外の情勢を踏まえ、科学技術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る基本的な計画

科学技術イノベーション総合戦略(毎年)
科学技術基本計画を達成するために毎年作成する、府省庁の施策をまとめた総合的な戦略

2. 科学技術予算・人材の資源配分など

科学技術重要施策アクションプラン(AP)
科学技術イノベーション総合戦略を実行するために、重点的な取り組みとして特定した府省庁の施策(予算)

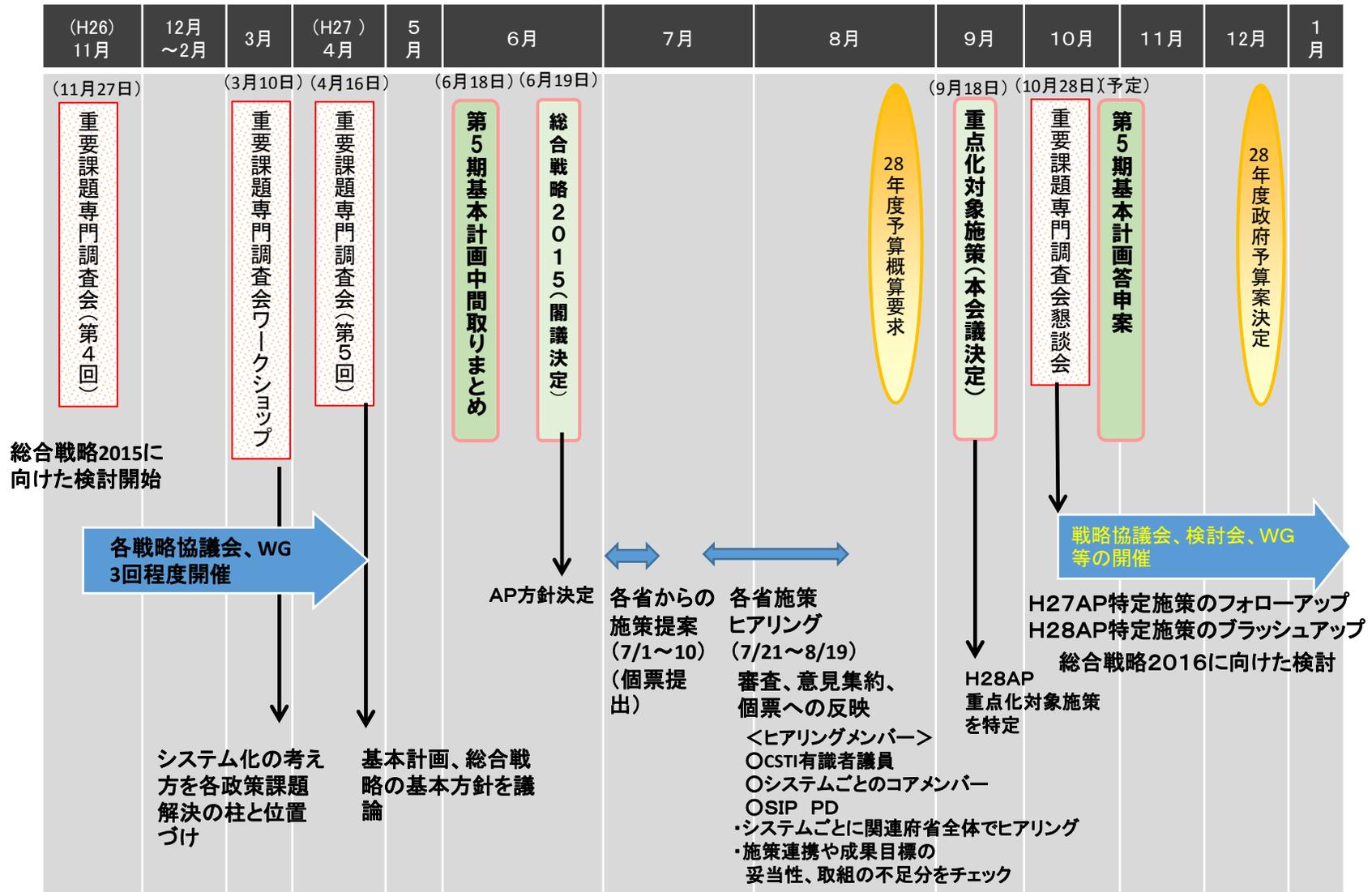
3. 国家的に重要な研究開発の評価など

第4期: 2015年度
(平成27年度)まで
第5期: 2016年度
(平成28年度)から
2020年度(平成32
年度)

総合戦略2015は、
2016年度(平成28
年度)予算のアク
シヨンプラン施策で
実行する

重要課題専門
調査会で審議
する

総合戦略2015に係るこれまでの検討スケジュール



平成27年度重要課題専門調査会の審議

- ◆ **重要課題専門調査会は、科学技術基本計画及び総合戦略に掲げられた、当面取り組むべき重要な課題並びに今後さらに取り組むべき課題について、調査・検討を行う。**

科学技術総合戦略2015 経済・社会的課題の解決に向けた重要な取組

- ①クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現
 - エネルギーバリューチェーンの最適化
 - 地球環境情報プラットフォームの構築
- ②国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現
基礎研究から優れたシーズを見出し、実用化へ一貫して繋ぎ、具体的な成果を目指す等
- ③世界に先駆けた次世代インフラの構築
 - 効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新の実現
 - 自然災害に対する強靱な社会の実現
- ④我が国の強みを活かしIoT等を駆使した新産業育成
 - 高度道路交通システム
 - 新たなものづくりシステム
 - 統合型材料開発システム
 - 地域包括ケアシステムの推進**
 - おもてなしシステム
- ⑤農林水産業の成長産業化
 - スマート・フードチェーンシステム
 - スマート生産システム

第5期科学技術基本計画に掲げられた課題等(答申)の対応

2章 基盤関連技術

3章

(1)持続的な成長と地域社会の自律的な発展

- ① エネルギー・資源・食料の安定的な確保
 - ・エネルギーの安定的な確保とエネルギー利用の効率化
 - ・資源の安定的な確保と循環的な利用
 - ・食料の安定的な確保
 - ② 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現
 - ・世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成
 - ・**持続可能な都市・地域のための社会基盤の実現**
 - ・効率的・効果的なインフラの長寿命化への対策
 - ③ ものづくり・コトづくりの競争力
- (2)国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
- ・自然災害への対応
 - ・食品安全、生活環境の保全、労働衛生の確保
 - ・サイバーセキュリティの確保
 - ・国家安全保障上の諸課題への対応
- (3)地球規模課題への対応と世界の発展への貢献
- ・地球規模の気候変動への対応
 - ・生物多様性の減少への対応
- (4)宇宙・海洋空間の開発、利用

- ◆ **詳細は戦略協議会、検討会、WG、分科会を設置して検討する。**

戦略協議会等の体制

総合科学技術・イノベーション会議

重要課題専門調査会

エネルギー
戦略協議会

次世代インフラ
戦略協議会

新産業
戦略協議会

農林水産
戦略協議会

環境WG

地域における人とくらしのWG

エネルギー・環境
イノベーション
戦略策定WG

システム基盤技術検討会

ナノテクノロジー・材料基盤技術分科会

- 戦略協議会は、第5期基本計画策定の検討を軸としている総合戦略2015に示された課題に基づき設置。
- 第5期基本計画第2章に示される基盤技術については、システム基盤技術検討会で検討。
- 「地域における人とくらしのWG」は、医療・介護等の専門的な内容を含む協議のためにWGを設置。
- 「世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成」は健康・医療戦略室で実施。
- 地球温暖化推進本部およびCOP21における総理指示に対応する、エネルギー・環境イノベーション戦略策定WGを設置。

各戦略協議会等の検討対象

	第5期基本計画関連	総合戦略2015関連
エネルギー戦略協議会	エネルギーの安定的な確保とエネルギー利用の効率化 資源の安定的な確保と循環的な利用	エネルギーバリューチェーンの最適化
次世代インフラ戦略協議会	効率的・効果的なインフラの長寿命化への対策 自然災害への対応 その他社会基盤関係	効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新の実現 自然災害に対する強靱な社会の実現
新産業戦略協議会	ものづくり・コトづくりの競争力 陸上交通関係	高度道路交通システム 新たなものづくりシステム
農林水産戦略協議会	食料の安定的な確保 その他農林水産関係	スマート・フードチェーンシステム スマート生産システム
環境WG	地球規模の気候変動への対応 生物多様性の減少への対応	地球環境情報プラットフォームの構築
地域における人とくらしのWG	第3章② ii)「持続可能な都市及び地域のための社会基盤の実現」の内、 地域における包括的ライフケア基盤システムの構築	地域包括ケアシステムの推進
システム基盤技術検討会	第2章関連 基盤技術検討会の成果関連	おもてなしシステム(CPS基盤中心)
ナノテクノロジー・材料基盤技術分科会	第2章関連 基盤技術検討会の成果関連	統合型材料開発システム
エネルギー・環境イノベーション戦略策定WG	地球温暖化推進本部およびCOP21における総理指示に対応	

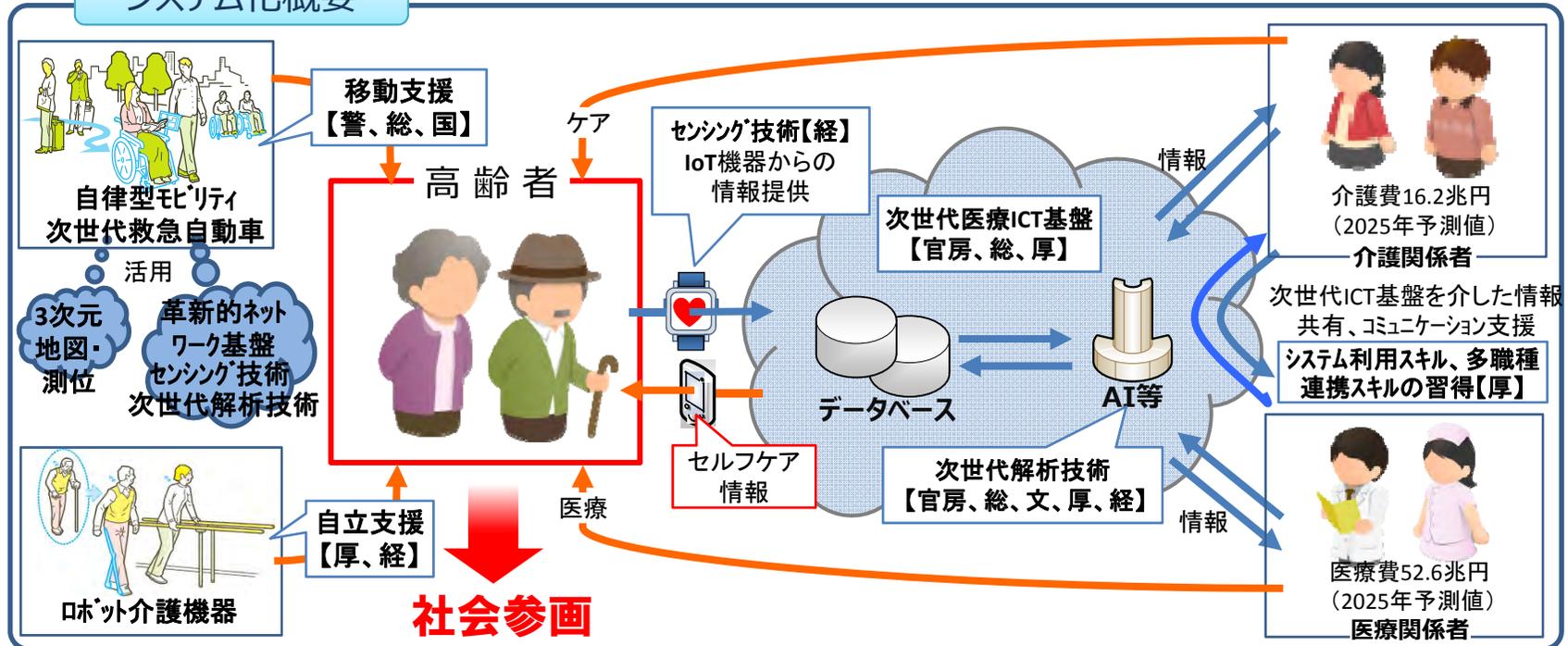
総合戦略2015のアクションプラン対象施策の具体例

IV. 我が国の強みを活かしIoT、ビッグデータ等を駆使した新産業の育成

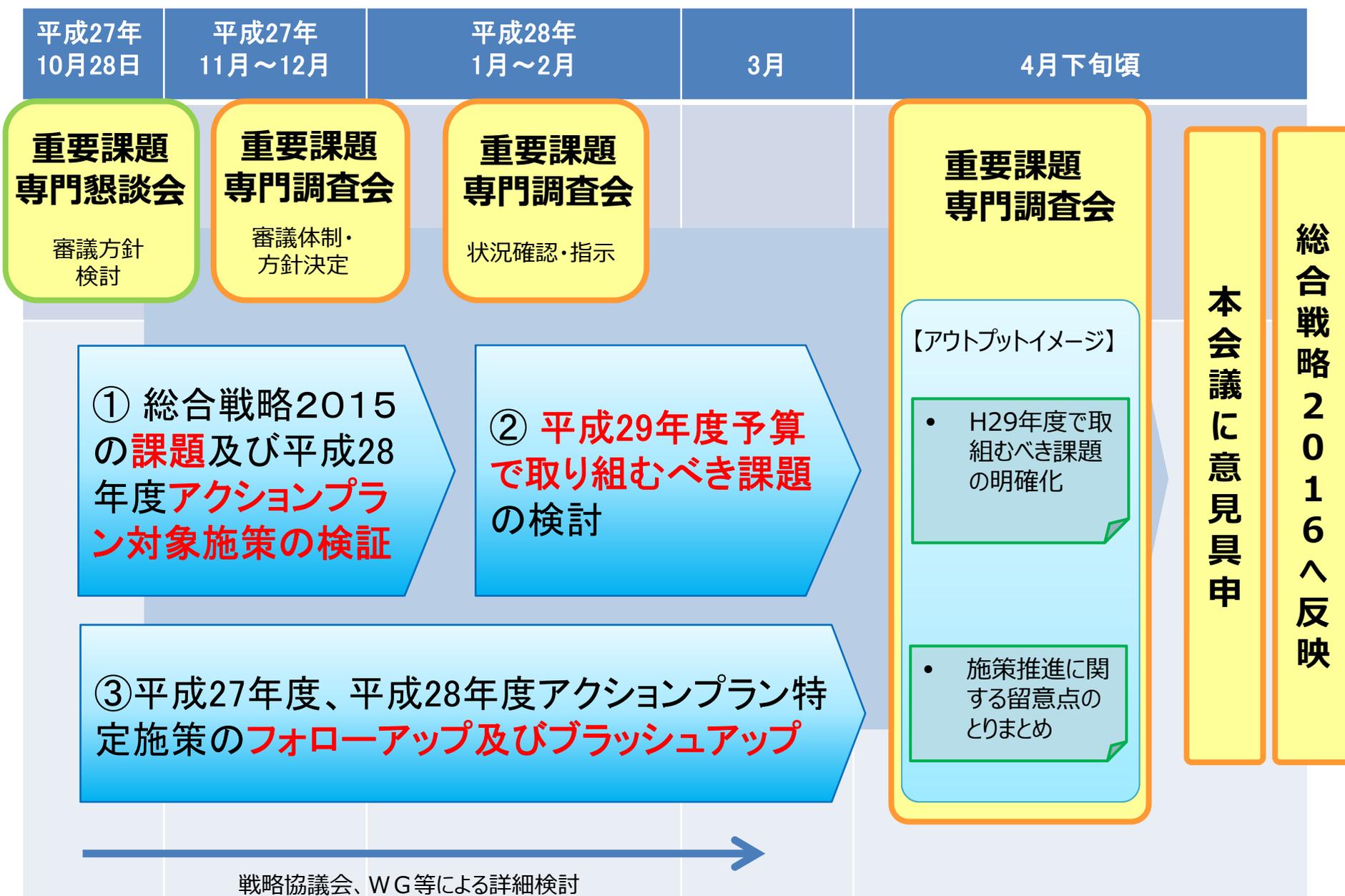
iv) 地域包括ケアシステムの推進

- 超高齢社会で、高齢者が生きがいをもって暮らせる社会を作り出すため、予防・医療・介護への生活支援が一体的に提供される地域包括ケアの推進により、高齢者の自立を支援
- 各種データの共有解析や、AI等も応用し、効果的なサービス提供と、介護従事者の負担軽減を目指す。併せて、自律型モビリティ開発や環境基盤整備により高齢者の自立行動を支援
- 高齢者の社会参画により、社会的役割の自覚や生きがいを育み、活力に満ちた社会を構築
- セルフケアサービス市場を構築、システム化されたサービスの海外展開等、新たな市場開拓

システム化概要



平成27年度重要課題専門調査会のスケジュール



地域における人とくらしのWGの検討方針

地域における最適な包括的システムの推進を目指して、地域での日常生活の中で、高齢者や子供たちを含む住民が健康を維持するための予防、医療、介護等サービスにおける情報基盤、自発的社会参画を可能とする社会基盤、住民に優しい住居・生活環境基盤等の構築に係る科学技術的課題を扱う

- ① 総合戦略2015の課題及び平成28年度アクションプラン対象施策の検証
- ② 平成29年度予算で取り組むべき課題の検討
- ③ 平成28年度アクションプラン特定施策のフォローアップ及びブラッシュアップ

構成員

氏名	所属
秋山ゆかり	株式会社Leonessa 代表取締役
浅見泰司	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授
石川正俊	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
石原美和	独立行政法人 地域医療機能推進機構本部 企画経営部 地域包括推進課長
伊藤 美千穂	京都大学大学院 薬学研究科 薬品資源学分野 准教授
今村 聡	公益社団法人 日本医師会 副会長
栗山真理子	日本患者会情報センター 代表
仙石慎太郎	東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 准教授
福井次矢	聖路加国際大学 理事長 / 聖路加国際病院 院長

(五十音順)

地域における人づくりのWG 検討スケジュール

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
12月21日(月) 12:30-14:30	1月18日(月) 12:30-14:30	2月15日(月) 13:00-15:00	3月11日(金) 13:00-15:00	開催 未定
・各委員からの ビジョン及び課 題・対策の提 示・共有	・各省庁ヒア リング - 既存事業の 概要、進捗等 - 平成29年度 事業の方針	・平成29年度 で取り組むべき 課題検討 ・総合戦略 2016素案検 討 ・指標の検討	・平成29年度 で取り組むべき 課題明確化 ・施策推進に 関する留意点 のとりまとめ ・総合戦略 2016WG案策 定	

3~4月 重要課題 専門調査会

【アウトプット
イメージ】

H29年度で
取り組むべき
課題の明確
化

施策推進に
関する留意
点のとりま
とめ

本会議に意見具申

総合戦略2016へ反映

12/11 重要課題 専門調査会

審議体制・
方針決定

2~3月 重要課題 専門調査会

状況確認・指示